

清流

あしりべつ

発行

清田地区町内会連合会
 〒004-0841
 清田区清田1条2丁目
 TEL 883-7600
 FAX 883-8057
 発行責任者 牧野 晃



子供たちの夢をはぐくむ学習水田

「ゆめ田んぼ」で田植え体験

清田小

かつては周辺一帯が「美しい清らかな水田地帯」で、地名の由来にもなった清田地区。札幌ライオンズクラブの寄贈によって、学校のグラウンドの一角に再現され、今年で四年目を迎えた清田小学校の「ゆめ田んぼ・あしりべつ」では、学習の一環として五年生六十四名により田植えが行われました。

田植えの指導を受けた子供たちは、早速冷たい水田の中に入り、泥んこに足をとられて悪戦苦闘しながらも、初体験の田植えに一生涯懸命挑戦しました。

地域の風物詩として初夏の訪れを告げる清田小学校の田植えも、今ではすっかり定着し、子供たちに夢を与えています。

(清水延明)

新年度のスタートに当り…



清田地区町内会連合会
会長 牧野 晃

清田区誕生十周年が終り今年度は、まちづくりの新たな出発の年でありま
す。十周年を契機にこれまでの取組み
を振り返り、その成果と今後の課題を
明らかにしたところであります。

町連におきましても、①人の優しい
まち、②安全で安心して住めるまち、
③緑豊かな快適なまち、の三点を目標
に各町内会を中心に活動して参りまし
た。しかし、この活動もまた緒につい
たばかりで、これからも一層活動推進
に努めねばと思っております。

その実践の原動力となるものは、前
記の目標は「誰かがやるだろう」「役
員が考えてくれる」ではなく、自分の
こと、自分たちのまちの課題と捉え、
解決のために具体的に一歩踏み出すこ
とであると思えます。

もう一点は、行政等の力では限界が
ある高齢者の日常的な見守り支援、子
ども達の安全・防犯についても関心を
持つていただき、地域のため「自分の
やれることをやる時に」をモットー
に力を出し合う気運を町内会や仲間の
中に広めて行くことが、これから特に

求められることと思えます。

「住みよいまち」をつくることが、
町内会、町連の存在意義の一つである
と思えます。

皆様方のご理解とご協力を心よりお
願いするものです。

定例総会

清田地区町内会連合会の「平成二十
年度定例総会」が四月二十六日(土)
午前十時半から清田区民センターで開
催されました(出席者六十六人、委任
状四人)。牧野晃会長が「町内・町連
とは何かを考え、住み良いまちづくり
を進めて行きたい」と挨拶。

真栄第三町内会の橋文也さんを議長
に選任し議事に入りました。

簡易保険の「団体払い込み制度」適
用打ち切り(十八年度より)の關係で
当町連も収入が減少していますが、今
年度も事業

を減らす事
なく、経費
の節減で予
算が組みま
れています。

総会は議
長のスムー
ズな進行で
原案通り承
認されました。



学生と連携!
町内会が地域活動への参加を呼びかける
ポスターを制作

昨年十二月から今年の三月にかけて
清田、厚別、南区の各町内会役員と地
元の大学生が、それぞれチームを組み
延べ十五回のワークショップを重ねま
した。目的は「札幌全区で使用出来る
町内会への加入・活動参加」を啓発す
るポスターの制作でした。

- 主催 札幌市市民まちづくり局地域振興部
- 町内会(清田区) 有楽町内会会長 松原 宏悦
- 同役員、NPO法人 横江 光良
- 札幌国際大学社会学部学生 伊藤、鈴木、平野、峯田
- 札幌市立大学デザイン学部学生 大和田、堺、佐久間
- アドバイザー 飯田 俊郎教授(札幌国際大学)
- ポスターデザイン・アドバイザー 望月 澄人教授、羽深 久夫教授(札幌市立大学デザイン学部)
- 企画・運営 俵谷奈美江(株) ノーザンクロス

ワークショップ編集会議では
第一、ターゲットは町内会加入者、

主に二十代から四十代、
活動にあまり参加しない人。
第二、戦略として何をどのように訴え
るか。
第三、戦術としてどのような要素、素
材を用いて、どのように訴える
かでした。



ワークショップ 於:有楽町内会

その中で学
生側から様々
な質問が出さ
れました。一
部を紹介しま
すと
「町内会って
なんですか」
「町内会は市
役所の関係団
体ですか」「札
幌市にはいく
つの町内会がありますか」「町内会の
地域は何を基準に区切られています
か」「町内会に入るメリット、デメリッ
トは」「町内会に加入する方法は」「会
費を払えない、入らなければどうなる
のか」等でした。
また、学生に町内会へ入らない理由
を聞いてみました。
「存在を知らない」「何をしているのか
不明」「勧誘がない」「お金がない」「加
入方法が分からない」「魅力がない」
等でした。
若い人にとって「町内会の事が良く
分からない」と云うのが大きな理由で

した。
 この様にデザインする学生は「町内会」という抽象的なものを形にする事に大変苦慮しました。
 しかし、ちよつと地域でボランティアをした、自分の力を試したい」と思いがこめられたポスターが完成しました。

ポスターの制作を通して、どうすれば町内会への加入者・活動に参加する人が増えるかが、見えて来たように思えます。
 「加入促進ではなく、地域の活動が楽しめる、地域に貢献できるネットワークの場が町内会なのでは…」

(松原 宏悦)



**孫たちに託したい
まちづくり**



地域づくりの必要性が話題になる中で、町内会の運営方針や推進課題を計画的に進めている町内会は以外に少ない。厳寒時この地に大地震が発生した場合、その対応、避難などに混乱が予想されます。災害への住民意識高揚のため、「防災用具備蓄状況調査」「通学

路などの違法駐車状況」など、一つの町内会では困難な広域運動の展開を今から始めては如何でしょうか。
 「二十年先を見越した住民のコミュニケーション」



「この子(孫)らに託したい20年後の酒田のまちづくり」
 真栄地区に住み始めて半15年、果たせなかった住み良い地域(安心、安全、緑多い美しい酒田)のまちづくりを、この子(孫)らに引き継ぎ育てたい。
 【菅原 繁春さん】

くり」や「行政とのパートナーシップ」の理解醸成などは今、私たちに出来る非常に大切な課題ではないだろうか。地域づくりの基本は何と言っても、愛郷心・連帯感・帰属意識を高めて育てることです。

**特別委員会の設置に期待
(町連規約第十八条)**

各町内会の知識経験者による「まちづくり推進特別委員会」が設置されれば専門部会を通じて、町内会役員の研修、地域課題の持ち寄りで各町内会組織と住民間の連携も一層深まるのではないだろうか。
 最後に町内会長が私的諮問機関(真栄交通安全対策推進委員会)を設置して十年越の課題が解決された例を写真で紹介して終わります。



完成道路風景

(東真栄町内会 菅原 繁春)

**盛会だった
老人クラブ真栄寿会のお花見の会**

寿会は真栄地区の五町内会に住む概ね六十歳の方々が集まって構成されて

います。
 毎年、お花見会、球技大会、屋内運動会、五町内会長との交流会、研修会(一泊二日を一回、二泊三日を一回)、忘年会、新年交流会、などの行事を開催し親睦と融和を図っています。
 今年のお花見会は五月十九日(月)に実行、桜は一足早い春の訪れで散ってしまいましたが、ツツジ、シャクナゲ、ライラックなどの花々が満開でした。当日は時々雨の空模様となり会場を真栄地区会館に変更し開催しました。会場では五月に生まれた九名の方に記念品を贈呈し誕生日を祝福したあと宴に入りました。花の観賞が出来なかったためか、会は花よりダンゴに重きがおかれたようでした。
 アトラクションでビンゴゲーム、カラオケを行い「お花見会」は盛会のうちには終了しました。



尚、高齢化社会の中で真栄寿会の役割も一層大きくなるものと思っております。これからも真栄地区五町内会と相互理解を深めながら、数多くの方々に寿会へ参加していただき、会員相互の交流を推し進めて行きたいと思っております。
 (東真栄町内会 竹内 確男)

子ども達に人気の パトロール隊員



毎朝、美しが丘通り三条一丁目のガソリンスタンド周辺の交差点で競輪選手の様ないでたちで、防犯パトロールのジャケットをまとい、通学する子ども達を優しく見守る人が居ます。身体は小柄ですが引き締まった肉體、顔面

「ヒゲのオジサン」と親しまれ人気を呼んでいます。ヒゲの主は真



榮五条三丁目に住む佐久間剛さん六十七歳です。若い頃は自転車大会にも出場した事があると云う事で、現在も愛用のレース用自転車で走り続けている元氣おじさんです。

参加し今年で三年目を迎えています。朝の登校時、午後の下校時は低学年と高学年の二回の一日三回、学校の休み以外はいつもの交差点で子ども達の安全を見守っています。

雨の日、吹雪の日もあり、ボランティア活動と一口では言い易いですが、ほぼ毎日の出勤は、なかなか真似の出来る事ではありません。

顔見知りになった子ども達に、趣味で描いているバステル画を気安く贈って喜ばれており「今度は馬の絵を描いて下さい」などリクエストも多



遅れて下校する子どもを自宅近くまで送ったりするなど、とても気持ちの優しいヒゲのおじさんです。ご本人は「身体が続く限り防犯パトロールを続け、少しでも地域の役に立て

れば」と今日も子ども達の安全に目を光らせています。

(真栄団地町内会 主藤 慶政)

児童に ボランティア会員を紹介

真栄小学校で初の試み

六月三日(火) 真栄小学校の全校朝会で交通指導員と防犯ボランティア会を児童に紹介する初の行事が行われました。

今年の春に着任した長尾校長が「地域一体となって児童の安全確認に取り組んでいる方々を全児童に紹介したい」との思いから実現したものです。

児童五七〇名が集まる体育館で、出席した二十二名の交通指導員と防犯ボランティアの一人々が自分の担当場所などを交えて自己紹介し、併せて安全を呼びかけました。

児童の中には、日頃の活動を通じ仲良しになった気持ちから手を振って笑顔を見せる児童も

いるなど会場は和やかな雰囲気になり、包み込まれました。

そして校長先生から出席者の皆さ



らへ感謝の言葉があった後、全児童による学校の前期テーマソング「さんぼ」の合唱がありました。



続いて、会議室で、校長、教頭、教務主任の各先生達との懇談会が行われ、交通指導員とボランティアから見た児童の様子、感じた事などが語られました。

その中で「子ども達の挨拶が非常に良くなった」との話が多く出ていました。その他、「通学時の舗道の歩き方」「天候急変時の雨具などの携帯」などの意見が出され、学校側では意見を参考に今後の指導に生かして行きたいと話していました。

大変有意義だった「朝会での紹介、先生との懇談会」、子ども達の「安全・安心」のために学校・地域が一体となって取り組んで行く必要性を、ますます強く感じさせた催しでした。

(防犯ボランティア会員 Y・S)

NHK「ほっからんど北海道」 真栄地区の 笑顔を紹介



一月三十日(水)午前十一時五分から「真栄地区で生き生きと活動している人々、その笑顔」がNHKのTVで紹介されました。これは地域情報番組「ほっからんど北海道」の「この街この笑顔コーナー」で放送されたもので、明るい笑顔がTVの画面にあふれました。

番組のスタイルは女性リポーターが真栄地区の案内人と出会い、魅力的な笑顔と活動を紹介して行くものです。視聴出来なかった皆さんのため、その内容を再現しましょう。

日本の歌声は 体力トレーニングから

自然豊かな真栄地区の概要が説明されたあと、リポーターと出会った案内人の牧野晃町連会長が「日本の歌声を聞きましょう」と真栄中学校の合唱部に案内。

ところが美声は聞こえず顧問の三沢真由美先生を中心に体操に汗を流す部員の姿が映し出されました。体力トレーニングを兼ねた発声練習と聞いて納得。この後は美しいハーモニーを作り出す練習風景がTV画面に映し出されました。

合唱部は「NHK全国学校音楽コンクール」「全日本合唱コンクール」で最高位の金賞を連続受賞しており、その実力は知れ渡っているところです。



楽しい雰囲気でも働く HAPPY ENJOY 札幌

続いて案内人は「障害のある人達の自立を支援している施設、HAPPY ENJOY」

J.O.Y.札幌」を紹介しました。

施設では食品メーカーの請負で、惣菜用の人参の皮むきをする男性たち、福祉の店での販売やバザー出すため刺繍、コースター作りに励む女性たち、それを見守りながらギターを弾き楽しんでいる所長の橋文也さん、笑顔が画面いっぱい広がっていました。



「私達はこの地域で生きていきたい、皆さんが受け入れてくれるのが嬉しい」とインタビューに答えた所長

の言葉が印象的でした。また地域に密着した活動で高齢者宅の除雪をしている男性が紹介され高齢者とのふれ合いで生まれる笑顔が映し出されました。

歓声と笑いを誘う 清田マジッククラブ

次に案内人は「高齢者が大いに楽しんでる所を紹介します」と真栄地区会館を訪れました。

室内では正装に身を包み「うどん」を食べている男女が映し出されました。男女は「清田マジッククラブ」のメン

バーで、手品で作った「うどん」を試食しているところでした。メンバーは十五人で平均年齢が六十五歳。月二回集合し



マジック歴五十三年という講師の菅原繁春さん(七十三)を中心に手品が何よりも好きな人達のグループです。

この日は町内会の子ども達が招待され、メンバーの繰り広げるマジックショーに会場は歓声と笑いに包まれていました。

故郷のような街に...

最後に案内人が「真栄地区は故郷として山あり川あり、そして隣近所の優しいおばさん達も居て故郷の様な優しい街にしたい」の言葉で放送が終了しました。

画面には素敵な笑顔、魅力的な活動地域の連帯、人々の絆、元気な人々の様子が紹介され多くの人々に真栄地区の存在感を高めたようです。

(小山田義信)

町連各部の活動

子ども・お年寄りの安全を守る

共生の交通社会を！

――交通安全対策部――



四月十日午後二時、清田区役所前の交流広場で「春の交通安全清田区交通事故防止総決起集会」が開かれました。清田地区からは百

二十名の参加をいただき三十六号線沿いでは道行くドライバーに交通事故防止を呼びかけて頂きました。

さて、今年の六月一日から改正道路交通法が施行されました。

主な内容は

- 自転車の歩道通行ルールの見直し。
- 児童・幼児の自転車乗車時のヘルメット着用義務。

◎ 自転車の新しい通行ルール

普通自転車は「子どもや高齢者が

運転する場合」や「車道通行が危険な場合」も歩道を通行できません。○普通自転車が歩道を

通行できる場合

- ・ 「歩道通許可」の標識があるとき
- ・ 児童、幼児、七十歳以上の高齢者、内閣府で定める身体障害者
- ・ 車道または交通の状況に照らし、やむを得ないと認められるとき

○ 普通自転車の歩道通行の方法

- ・ 車道寄り部分を通行し徐行しなければなりません。
- ・ 歩行者の通行を妨げるときは一時停止しなければなりません。
- ※ 普通自転車は車道通行が原則であることには変わりありません
- すべての席、同乗者にシートベルトの着用義務。
- 七十五歳以上の運転者に「高齢運転者標識」表示の義務。
- 聴覚障害者の免許取得可能者の範囲拡大。

● 「聴覚障害者標識」表示の義務など

以上、新しい通行ルールを掲載しましたが、最近では自転車による事故が急激に増加しています。

マナーを守り譲り合いの精神で事故防止に努めて下さい。

今年も夏、秋、冬の交通安全運動街頭啓発があります。大勢の皆様に参加をお願い致します。(部長 林 義隆)

十五名の育成委員

――青少年育成部――

(清田地区青少年育成委員会)

四月十一日に清田地区から十五名の青少年育成委員が選任されました。

再任された方、新しく選ばれた方(三名)は町連の選考委員会で指名され、市長の委嘱状が石倉昭男清田区長から手渡されました。任期は三年です。

清田地区青少年育成委員は町連に加盟する各町内会から選出されるため、町連の青少年育成部員でもあります。

活動内容は「成人の日の式典」や清田体育館で十一月に開かれる「大縄跳び大会」などです。

私達は常日頃、子ども達が事故もなく元気で明るく育つ事を願っており、そのため各委員には、非行防止の面から子ども達の出入りする店などの様子、また地域のイベント等の見回りをお願いしています。そして見回りは日々実行する気持



ちでいるようお願いしています。学校との情報交換も大事な事です。

また、育む面では、レクリエーションとして今年も十二月の第一日曜日に「親子もちつき大会」を計画、他にも行事を考えておりますので多くの皆様の参加をお待ちしております。(部長 林 憲)

様々な分野の原動力に

――女性部――



新緑を迎えられ新年度が始まりました。「清田区女性部・交通安全母の会」と

の連携を保ちながら活動を進める一年です。地域が一丸となった安全で住みよい街づくりのために、活躍を続けるボランティアの方々や、子育て支援・福祉活動などを行う女性の力をお借りして、様々な分野で大きな原動力として貢献出来ればと思います。

町連が掲げる街づくり構想と歩調を合わせ微力ながら成果を挙げることが出来ますよう努めて参りたいと思いません。(部長 河邑 俊子)

清田地区町内会連合会年間主要事業

月	事業名・内容
平成20年4月	・平成20年度清田地区町内会連合会定例総会(総務部) ・春の交通安全街頭啓発(交通安全対策部)
5月	・地域懇談会(総務部)
6月	・理事1日研修(総務部) ・パークゴルフ大会(体育部) ・1日見学研修(女性部)
7月	・連合会だより発行(広報部) ・見学研修会(保健衛生部) ・夏の交通安全街頭啓発(交通安全対策部) ・歩く運動(体育部)
8月	・青少年を見守る店巡回(青少年育成部) ・地区対抗壮年野球大会(体育部) ・清田区防災訓練参加(防災・防犯部)
9月	・秋の交通安全街頭啓発(交通安全対策部) ・防災防犯講習会(防災・防犯部)
10月	・民児協・福まち合同研修(福祉厚生部) ・共同募金活動(福祉厚生部) ・市民見学会(女性部)
11月	・冬の交通安全街頭啓発(交通安全対策部) ・大縄跳び大会(青少年育成部) ・ミニバレーボール大会(体育部)
12月	・防犯パトロール(防災・防犯部) ・1円玉募金寄付(女性部) ・親子もちつき大会(青少年育成部)
平成21年1月	・新年交礼会(総務部) ・連合会だより発行(広報部)
随 時	子どもの見守り活動(防災・防犯部) 不法投棄パトロール(保健衛生部)



◁ 四月
交通安全街頭啓発



▷ 四月
清田地区定例総会

清田地区町内会連合会
定例総会



◁ 五月
福まち定例総会



▷ 七月
歩く運動



◁ 八月
防災訓練

清田地区福祉のまち推進センター年間主要事業

月	事業名・内容
平成20年5月	・定期総会
7月	・こがもちゃん事業の実施
8月	・ふれあいバス見学旅行
9月	・こがもちゃんミニオリンピック大会
10月	・福まち講演会
11月	・友愛訪問
12月	・福まち「お楽しみ会」
平成21年3月	・ほほえみ交流会



◁ 三月
ほほえみ交流会



▷ 一月
新年交礼会



◁ 七月
こがもちゃん事業



平成20年度
清田地区町内会連合会役員名簿

役 職 名	氏 名	所 属 町 内 会	備 考
顧 問	長 岡 武 夫	清田町内会	
	林 茂	清田町内会	
	紙 栄 吉	東真栄町内会	
	伊 藤 義 雄	真栄第二町内会	
会 長	牧 野 晃	真栄第四町内会	
副 会 長	竹 田 輝 夫	真栄第一町内会	総務部長 兼任
	田 崎 克 典	真栄第三町内会	真栄第三町内会会長 財務部長 兼任
	清 野 廣 一	真栄団地町内会	真栄団地町内会会長 福まち運営委員長 兼任
監 事	畠 山 昇	新平岡町内会	
	土 田 輝 一	真栄団地町内会	真栄団地町内会副会長
総 務 部 長	竹 田 輝 夫	真栄第一町内会	
財 務 部 長	田 崎 克 典	真栄第三町内会	
福 祉 厚 生 部 長	大 滝 正	清田町内会	清田地区民児協副会長
保 健 衛 生 部 長	山 田 忠 彦	真栄団地町内会	
防 災 ・ 防 犯 部 長	横 江 光 良	清田有楽町内会	
交 通 安 全 対 策 部 長	林 義 隆	真栄第四町内会	清田地区交通安全指導委員会 支部長
青 少 年 育 成 部 長	林 憲	清田町内会	清田地区青少年育成委員会会長
女 性 部 長	河 邑 俊 子	清田有楽町内会	
体 育 部 長	住 吉 誠 一	真栄第一町内会	清田体育振興会会長
広 報 部 長	小 山 田 義 信	真栄団地町内会	真栄団地町内会副会長
理 事	林 正 明	清田町内会	清田町内会会長
	松 原 宏 悦	清田有楽町内会	清田有楽町内会会長
	野 村 正 己	新平岡町内会	新平岡町内会会長
	藤 本 石 雄	真栄第一町内会	真栄第一町内会会長
	氏 家 正	真栄第二町内会	真栄第二町内会会長
	設 楽 省 三	真栄第四町内会	真栄第四町内会会長
	大 前 弘	東真栄町内会	東真栄町内会会長
	児 島 輝 典	美しが丘町内会	美しが丘町内会会長
	勝 崎 春 市	有明町内会	有明町内会会長

和道云「希望塾」
少年クラブ紹介
空手クラブ
シリーズ⑤

全日本空手道連盟に属し平成五年頃、真栄小体育館にて清和会菅原道場とし

て発足、その後、清田区体育館新設時に本拠地として「希望塾」を開設し現在に至っている。近年は幼児から高校生、さらに女子も増え、全国をはじめ数多くの大会に出場している。

○モットー

- ・ 礼に始まり礼に終わる
- ・ 何事にも動じない心といたわりの

○塾生 心を持つ

- ・ 約六十名
- ・ (小学生中心)



- 活動日時
- ・ 清田区体育館 二階
- ・ 毎週水曜日
- 指導者
- ・ 午後六時三十分～八時三十分
- ・ 菅原 繁春師範 (七段)
- ・ 元井 充輝 (希望塾長)
- ・ 八八五二二八八二
- ・ 五九一一四八六 (松原 宏悦)



内 容	陶芸、川柳、歴史、絵手紙、社交ダンス、園芸、日帰り旅行など全25回。
開始日時	6月3日～12月16日の毎週火曜日、午前10時～正午 ※夏休みがあり、一部の講座は、異なる曜日、時間帯に実施します。
会 場	清田区民センターほか。
対 象	区内住民で、満65歳以上、毎週受講できる方（過去に入学された方はご遠慮下さい）。
定 員	50名
受 講 料	無料 ※講座により、材料費の負担があります。

高齢者教室 「ふれあい学園」紹介

さまざまな生き来し老いら
集いつつうちとけゆく心なごめる

平成二十年六月三日（火）、清田区民センターで「ふれあい学園」の入学式が行われました。早速、お邪魔して来ましたのでご紹介します。

この事業は、清田区役所地域振興課地域活動担当の所管で、十一年目を迎えます。



教育とは教はりしことおしなべて
忘れし後に残るものをいふ

(清水 芳洞)

豊かに学び、大きな大きな友達の輪を広げ、みんなで仲良く、皆勤賞をめざして励まれることを祈りつつ、会場を後にしました。

「ふれあい学園」は、学校形式の楽しく和やかな雰囲気基調に、幅広い分野の講義と体験実習がたくさん用意されています。「自分自身の教養を高めるとともに、新たな友達と出会うこと」によって、心豊かな生活を送る」とをめあてて開設されました。

受講生にとって緊張気味の入学式が終わり、オリエンテーションになりました。担当者の明るい笑顔とやさしい声かけの中、お互いの自己紹介が進んでゆくと、すっかりうちとけて来ました。二年半前に、根室から移り住んだという女性は、「老人施設に入っている。娘が学園のことを教えてくれた。人付き合いが悪い方なので、お友達をつくりたい。」と話してくれました。

さまざまな人生を背負った受講生が、

清田区の「ふるさと遺産」に 名称と説明のプレート設置



が記されています。

し、区のシンボルと十二ヶ所の「ふるさと遺産」を決めた際、区民の有志「清田まるごと博物館かん」がまちづくりに貢献しようとの記念のプレートを考え、その第一弾として神社境内に設置されたものです。

六月九日(月) 厚別神社の拝殿前で関係者と清田小学校四年生の児童たちが集まり、神主の祝詞が流れました。これは清田区が十周年を記念

「まるごと博物館かん」では十カ所にプレートを設置する事にしており、清田区を一つの博物館に見立てて文化財や自然を区民に散策してもらう事にしています。除幕式のあと児童たちは総合学習のひとつとしてウオークラリーを行い遺産と自然を見て回りました。

春の叙勲

国又は公共のために功績のあつた人々に贈られる「春の叙勲」(四月二十九日発表)で清田区から一氏が受章されました。

受章者(敬称略)

●瑞宝単光章(消防功勞)

田中 勝實(七十五)

元札幌市清田消防団団長

清田二条一丁目



「五十年余の永きにわたり、住民の方々と団員の皆様のご支援の賜物であり、深く感謝しております。ありがとうございました」

豊平警察署から感謝状

①永年に

亘つて地域の交通安全活動を推進し意識の普及高揚に努めた清田地区町内会連合



感謝状

清田地区町内会連合会

豊平警察署

平成二十年六月二十一日

署長 田中 勝實

副署長 田中 勝實

事務長 田中 勝實

副事務長 田中 勝實

書記 田中 勝實

庶務 田中 勝實

総務 田中 勝實

会。

②「地域の安全安心は地域住民の手で」を合言葉に、街頭犯罪抑止と小
学校周辺の警戒を実施してきた清田
地区防犯パ
トロール隊
以上の二団
体が二月十四
日、札幌方面
豊平警察署か
ら感謝状を受
けました。



清田地区防犯パトロール隊、豊平警察署から感謝状を受けました。

お詫びと訂正

平成十九年十二月発行の「連合会だより・清流あしりべつ」で十六ページに掲載しました「統計一口メモ④」で、男性の方から統計表の数字に一部誤りがあるとのご指摘を受けました。
左記の通り訂正しお詫び申し上げます。

統計に占める割合		65歳以上 (%)	
	誤	正	
南区	45.3	22.1	
西区	43.5	19.0	
手稲区	43.3	18.2	

募集

皆さんからの
投稿記事を
募集します!!

◆題材は

嬉しかった事、残念だった事、役に立った事、我家の自慢、など身近な話題がありましたら応募して下さい。テーマは問いません。自由です。

◆対象は

清田地区町内会連合会に加入している町内会の皆さん。

◆原稿の作成は

タイトル、本文、町内会と執筆者名、写真一枚で、全体で原稿用紙四〇〇字以内に納まる程度で良いです。

◆掲載までの流れは

原稿は必要に応じて広報部で加筆、修正することもあります。

◆掲載は

原稿は「連合会だより・清流あしりべつ」の一月発行に掲載します。

◆原稿は

「連合会だより・清流あしりべつ」に掲載後は広報部で責任を持って処理いたします。

編集後記

親生まれ、感謝されるパトロール隊員の話題が掲載されていますが、最近通学路で児童がスクールガードと笑顔で話をしている姿に接する機会が多くなってきました。

地域の安全を守る活動の広がりとともに、不審者情報も減少、着実に成果をあげている清田地区です。児童が健康やかに成長し、街づくりの主役となる日が待ち遠しいかぎりです。

(長屋 俊二)

二十年度の広報部員です。(五十音順)

池田 敏夫(真栄第一)

◆メ切は

十一月末日必着

◆送り先は

〒〇〇四一〇八四一

清田区清田一条二丁目

清田まちづくりセンター内

清田地区町内会連合会 広報部

◆問い合わせ

電話 八八三一七六〇〇

皆さんの紙面づくりへの参加を、お待ちしております。どしどし身近な記事をお寄せ下さい。

お知らせ

「連合会だより・清流あしりべつ」は、これまで七月と十二月に発行しておりましたが「地域の話題、町連の行事を少しでも多く掲載したい」などから今年度から十二月号を翌年の一月号に切り替え発行いたします。

【統計一口メモ④】

	人 口		統計に占める割合	平均年齢(才)
	男	女		
全 市	830,309	989,352	1,879,661	43.0
中央区	91,295	109,494	200,789	42.9
北 区	130,842	142,269	273,111	42.7
東 区	121,903	131,294	253,197	42.3
白石区	97,782	105,453	203,235	42.1
厚別区	60,647	69,097	129,744	43.4
豊平区	97,612	110,336	207,948	42.9
清田区	54,227	59,162	113,389	42.3
南 区	71,080	79,087	150,167	45.3
西 区	98,786	110,870	209,656	43.5
手稲区	66,135	72,290	138,425	43.3

平成十九年七月一日現在(市企画部統計)